

ファッション本科「服飾デザイン1年・2年」

内容と目標

- ・1年次：服飾デザインの基礎知識と基礎技術の習得
- ・2年次：服飾デザインの応用技術の習得

年間スケジュール

		1学期	2学期	3学期	授業時間数
ファッション本科	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザインの発想のための講義と演習 ・ファッションにおける色彩学の講義と演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の服装史 ・日本の服装史 ・和服の知識と着装方法 ・ファッションショーのデザイン創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・体型とデザインの研究 ・ファッションショーの実物制作 	90時間
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイン発想の為のトレーニング ・服飾素材、マテリアルの基礎知識の習得 ・各種素材の効果的表現方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業作品制作 ・ファッションショーデザイン創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業作品制作 ・ファッションショーの作品制作 	110時間

成績評価方法：課題提出（70%）出席率（20%）授業姿勢（10%）

ファッション本科

「基礎製図1年・パターンメイキング2年」「服装造形実習1年・2年」

理論、実習の流れで組み合わせて授業を行う

ファッション本科1年次 基礎製図

ファッション本科2年次 パターンメイキング

内容と目標

- ・体型研究、パターン制作の基礎、見頃原型作図、パターン操作法
- ・服飾造形における、作図の基礎理論の習得
- ・各アイテムの基本的なシルエットの作図理論と方法の修得

ファッション本科1年次・2年次 服装造形実習

内容と目標

- ・服飾造形における基礎知識の習得（縫合の基礎、実寸での作図、理論の修得）
- ・各課題アイテムの制作を通し、服作りの技術と理論の修得
(服の構造、デザイン表現、作図理論と方法、仮縫い補正方法、素材扱い縫製方法)
- ・衣服制作のための用具：概説一般知識 用具一般知識
- ・衣服制作のための人体と計測：人体について及び人体計測
- ・デザイン→作図→パターンチェック→縫い代付け→裁断→印付け→仮縫い→縫製 という一連の制作過程を以下の課題を通して学ぶ。

年間スケジュール

1年	スカート	ワンピース	台襟付きシャツカラー半袖シャツ	シャツカラーのジャケット
2年	ベスト	パンツ	テーラードカラージャケット	コート

		1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
フ ア ッ シ ョ ン 本 科 1 年	基礎製図	<ul style="list-style-type: none"> ・スカート ・原型理論+自分の体型に合う原型作図 ・ワンピース ・シャツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウス ・ジャケット ・洋裁技術認定試験（初級） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャケット ・パンツ 	200 時間
	服装造形実習	<ul style="list-style-type: none"> ・スカート ・ノーカラーノースリーブワンピース ・台襟付きシャツカラー半袖シャツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・台襟付きシャツカラー半袖シャツ ・シャツカラーのジャケット 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャツカラーのジャケット（続き） ・ショー用作品の制作 	220 時間

		1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
フ ア ッ シ ョ ン 本 科 2 年	パターンメイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・コートのシルエット ・コートの衿 ・パターンメイキング検定(3級)対策を含む授業① *既制服の概念の説明 *スカート、シャツブラウスのグレーディング *原型とシルエット=ダーツ移動でのギャザー、タック展開袖の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・パターンメイキング検定(3級)対策を含む授業② *シャツ・ブラウスのデザイン画からのフラットパターンメイキング *工業用パターン *トワルの組み立て方 ・洋裁技術認定対策（中級） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケープ ・フードカラー 	200 時間
	服装造形実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ベスト ・パンツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーラードジャケット ・コート 	<ul style="list-style-type: none"> ・コート（続き） ・ショー用作品の制作 	255 時間

成績評価方法：出席率（20%）課題提出（70%）授業姿勢（10%）

ファッション本科 2 年 服飾造形実習選択科目

ファッションデザインコース マイソーイング

流行に合わせたテーマに沿ったリアルクローズの造形実習

内容と目標

- ・1年次で習得した知識の応用
 - *デザイン、服の構造、作図、仮縫い、素材選び、縫製方法を各自で考えて研究する
- ・縫製仕様書の書き方を学ぶ

コスチューム制作コース

- ・1年次で習得した知識の応用
 - *コスチュームのイメージを表現できるように、デザイン、服の構造、作図、仮縫い、素材選び、縫製方法を各自で考えて研究する

クラフト・手工芸コース

- *染色、テキスタイルデザイン、手芸、雑貨づくり、小物づくりについて学び、表現の幅を広げる。

年間スケジュール

		1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
ファッション本科2年 実習選択科目	マイソーイング	テーマ： 袖にデザインのあるブラウス 例)ボリューム袖 *デザインと使用素材の決定 *1/4の縮尺定規での製図 *実寸製図 *パターンチェック *シーチングでの仮縫い *補正 *パーツパターン・縫い代付きパターンの作製 *裁断 *本縫い ・縫製仕様書の書き方	テーマ： オールインワン 例)ワンピース *デザインと使用素材の決定 *1/4の縮尺定規での製図 *実寸製図 *パターンチェック *シーチングでの仮縫い *補正 *パーツパターン・縫い代付きパターンの作製 *裁断 *本縫い *縫製仕様書作成	ショー用作品の制作 アクセサリー・小物の作製	90 時間

ファッション本科2年 実習選択科目	コスチューム制作コース	<p><デザイン発想トレーニングと自己分析の為の研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度なテクニック・知識を学ぶ事で、個性を伸ばし、豊かな表現力を磨く。 <p><造形学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想力・想像力・造形デザイン力のトレーニングをする。 ・自己分析し、興味、好きな事、特異な事分野を発見して視野を広げる。 <p><テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトやテーマ等、表現したい世界観をまとめる。 ・企画力をつけるトレーニングをする。 ・衣装にあった素材について検討する。 ・縮尺定規での製図 	<ul style="list-style-type: none"> ・実寸でのパターンの作成 ・シーチングでの仮縫い ・補正、修正を重ねて理想のシルエットを追求する。 ・裁断 ・本縫い <p><素材の決定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材、布地の持つ表情や特徴を活用し、表現するトレーニングを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネートを考える ・アクセサリ等、小物の作成 ・メイク、ヘアのデザインをして、コーディネートを完成させる。
	クラフト・手工芸コース	<ul style="list-style-type: none"> * ドール衣装 ・生地を染色する。 ・作品のコンセプトを決め、イラストで表現する。 ・切り絵 	<ul style="list-style-type: none"> * 手工芸 ・雑貨の制作について学ぶ。 * テキスタイルデザイン ・テキスタイルに適したデザインを制作し、プリントする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを活かして、作品展の作品作りをする。

ファッション本科1年・2年「ファッションドローイング」

内容と目標

・1年次：スタイル画の基本プロポーション、顔、手、足などの部分の描き方や、様々なポーズの描き方、基本的な着色を学び、基礎を固める。

2年次：応用的な着色方法を学び、より表現力を磨く。企画書やファッション画コンテストに対応できるスタイル画を描けるように練習する。コンピューターソフトの使い方を学び、アナログでイメージしたものをデジタルにおいても表現できるようにする。

年間スケジュール

		1学期	2学期	3学期	授業時間数
ファッション本科	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本プロポーションの描き方 ・顔、手、足などのディテールの描き方 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ポーズの描き方 ・基本的な着色練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせたポーズの描き方 ・終了作品の制作 	90時間
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・着色によるテキスタイルの表現方法 ・コンピューターソフトでのスタイル画練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由なポーズの描き方練習 ・デザイン画コンテストのイラスト練習 ・コンピューターでのイラスト練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業作品の制作 ・卒業作品の発表 	90時間

成績評価方法：出席率（20％）課題提出（70％）授業姿勢（10％）

ファッション本科1年「ファッションプランニング」

内容と目標

- ・ファッションビジネスの仕組み、概要を学ぶ。
- ・ファッションの流行をシルエット、カラー、素材などから分析する。
- ・アパレル製品の企画書や仕様書の描き方を練習する。
- ・就職活動や就職後に必要なファッションの企画書を制作する
- ・企画室採用にも対応できる知識の習得を目指す。

年間スケジュール

		1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
ファッション本科	1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネスの基礎知識と、ファッション用語を学ぶ。 ・市場調査を行い、流行の取り入れ方を分析する。 ・ファッションマップを制作し、企画提案のイメージを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル製品の企画書の制作手順を学ぶ。 ・アパレル製品の工程仕様書の読み方書き方を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイブランドを設定し、春夏、または秋冬用の企画書を制作する。 ・制作した企画書を発表する。 	100 時間

成績評価方法：課題提出（70%）出席率（20%）授業姿勢（10%）

ファッション本科1年・2年「基礎縫製」

内容と目標

- ・1年次：洋裁を学ぶ上で最も基礎となる運針及びミシンの操作手順に始まり、洋裁用具の使い方、素材別の布の扱い方などを習得する。また、ボタン、ファスナー、鍵ホックの付け方、素材別、アイテム別の縫い目線、縫い代の始末の方法をなども習得する。
- ・2年次：主に、各種ポケットの作り方、各種衿の作り方を習得する。

年間スケジュール

		1学期	2学期	3学期	授業時間数
ファッション本科	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いの練習 *並縫い、ぐし縫い、返し縫い等 ・直線縫いミシンとオーバーロックミシンの扱い方 ・釦の付け方、手縫い釦穴の作り方 ・各種明き（あき）の作り方 *スリット、短冊等 ・各種ファスナー付け方 *コンシール、フラットニット等 	<ul style="list-style-type: none"> ・袖付けの種類の部分練習 *シャツ袖、セットインスリーブ等 ・各種衿を作成、付け方の練習 *フラットカラー、シャツカラー、スタンドカラー、ロールカラー、タイカラー、フリルカラー等 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な明きの作り方 *比翼明き、略比翼明き ・種類別の袖かフスの作り方 ・ベンツ明きの作り方 	55時間
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ポケットの作り方、付け方。 *アウトポケット、玉縁ポケット、パッチポケット、フラップポケット、シームポケット、箱ポケット等 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリーツのたたみ方の部分縫い。 ・テーラードカラーの縫い方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な縫い方が必要な素材の練習 *リバーシブル、透ける素材、レース、皮革、ニット、デニム、コードュロイ等 	45時間

成績評価方法：課題提出（70%）出席率（20%）授業姿勢（10%）

ファッション本科2年「立体裁断」

内容と目標

- ・立体裁断の歴史と目的の学習
- ・イメージしたデザインを、図面を作らずに、ボディに着せた生地を直接鋏でカットし、ピンワークし、立体化する。反復練習により、短時間で形作れるようにする。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
ファッション本科2年	<ul style="list-style-type: none"> ・立体裁断という技術について ・立体裁断の歴史 ・練習に使用する生地であるシーチングの扱い方 ・経糸、横糸、地の目について ・身頃の原型を裁断、組み立てる。 立体作りに必要なダーツの意味と、ダーツ展開、ダーツ移動の学習と実習。 ・残後の身頃の肩と脇を縫いあわせ、プレスする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スカート原型を裁断、組み立てる。 *ウエストダーツ、前後脇やウエストベルトと合印についての学習と実習。 ・フレアスカート制作。 *地の目をポイントに、説明、実習。 ・基本のブラウスを組み立てる。 *パーツは、見頃、袖、衿、ヨーク。合印の正確性に注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウスの各パーツを縫い合わせて完成させる。 ・ワンピースを組み立てる。 *カフスのある袖を付ける。それ以外のデザインは自由とする。 	110 時間

成績評価方法：課題提出（70%）出席率（20%）授業姿勢（10%）

ファッション本科2年「コンピューターCAD 実習」

内容と目標

- ・洋服の型紙づくりをより迅速に行うために、コンピューターCADを使用する。
- ・ファッション本科2年次では、コンピューターCADの基本から応用までを練習する。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	時 間 数
ファッション本科2年	<ul style="list-style-type: none"> ・CADについての説明。 ・基本操作の説明。 ・直線、曲線が自由に描けるための練習。 ・起点その他の各点の種類と違いを学ぶ。 ・曲線を滑らかに整える練習 ・スカートの原型の作成。 ・原型を元に、タイトスカートを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スカート原型を元に、Aラインスカートを作成する。 ・Aラインスカートの型紙から工業パターンを作成する。 ・タイトスカートの型紙をフレアスカートに展開する。 ・Aラインスカートをプリーツスカートに展開する。 ・トップスの原型を作成する。 ・トップスの原型から基本ブラウスへ応用準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウスのシルエットの作成。 ・台衿、上衿の作成。 ・袖の作成 ・ブラウスパターンを工業用に作成する。 ・基本ブラウスにピンタックやフリル等のデザインを加える練習をする。 ・デザインされたブラウスをCADソフトでイラスト表現する。 	55 時間

成績評価方法：出席率（20%）課題提出（70%）授業姿勢（10%）

ファッション本科 1年・2年「服飾手芸」

内容と目標

- ・ 1年次：布帛での小物作りを通して、洋裁の基本技術練習をする。
- ・ 2年次：刺繍や手編みの基礎を学び、手仕事による表現の幅を広げる。

年間スケジュール

		1学期	2学期	3学期	授業時間数
ファッション本科	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洋裁用具の使用方法 ・ 洋服箱用布製ショルダーバッグの制作 * パターン作成 * 裁断・縫製 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小物作り特有の型紙づくりや、細かい部分を縫う縫製方法、ファスナー付けの練習 ・ 筆記具や洋裁道具が入るポーチの制作 ・ 裁断鋏を安全に収納できる鋏ケースの制作 ・ ファッションショー用アクセサリーの企画 	ファッションショー用衣装のアクセサリーを制作する。	55時間
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 布製のコースージュの制作 ・ ビーズ、石、メタルパーツなどでイヤリングやアクセサリーの制作 ・ 刺繍用具の使い方 ・ 刺繍の基本的なステッチの学習と練習 ・ 刺繍の完成作品としての小物ケースやブックカバーのデザインと制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛糸の編み方の基本練習。針の持ち方、糸のかけ方など。フランス式編み方を習得し、早く編めるように練習する。 ・ 増やし目、減らし目、模様編みなど手編み技術の習得 ・ 完成作品として、模様編みのあるマフラーや帽子などのファッション雑貨の制作 	ファッションショー用のアクセサリーを企画、制作する。	45時間

成績評価方法：出席率（50%） 課題提出（50%）

技術専攻科「ファッションデザイン」

内容と目標

- ・基礎を復習した後、応用技術を習得する。
- ・アイテム毎のデザインの創作：軽衣料のスカートやパンツ、ブラウス、ワンピースから、スーツ、コート等の重衣料まで広げる。
- ・卒業作品やファッションコンテストのデザインを創作する。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	
技術専攻科	<ul style="list-style-type: none"> ・スカート、パンツ、ブラウス、ワンピース等、軽衣料のデザインの制作 ・ファッションコンテストのためのデザイン創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーツ、コート等重衣料のデザイン創作 ・ファッションコンテストのための実物制作 ・ファッションショー用作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションショー用作品制作 ・卒業作品制作 	110 時間

成績評価方法：課題提出（70%）出席率（20%）授業姿勢（10%）

技術専攻科・ファッション研究科 1年共通「服装造形実習」

内容と目標

- ・服装造形の基礎知識の習得
 - *ニット等の特殊素材の扱い方と縫製方法
- ・各アイテム制作を通し、服作りの技術と理論の修得
 - *服の構造、デザイン表現、作図理論と方法、仮縫い補正方法、素材扱い、縫製方法

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
技術専攻科・ファッション研究科 1年共通	<ul style="list-style-type: none"> ・サマースーツ 上 下 *デザインは自由であるが、袖を付ける事と、レースやシルクなどの扱いにくい素材を使用することとする。 ・着用する時期とシチュエーションを踏まえたデザインと素材の研究と決定 ・パターンメイキング ・トワル ・裁断 ・仮縫い ・本裁断 ・本縫い 一式を連動して仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマルウェア 上 下 *ブラックフォーマルのアンサンブルまたはスーツ。ブラックフォーマルに相応しいデザインとする。 ・着用する時期とシチュエーションを踏まえたデザインと素材の研究と決定 ・パターンメイキング ・トワル ・裁断 ・仮縫い ・本裁断 ・本縫い 一式を連動して仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊素材 ・ショー用作品の制作 今までに習得した技術をもとに、技術専攻科生、ファッション研究科生として相応しい作品を制作する。 	技術専攻科 435 時間 ファッション研究科 1年 355 時間

成績評価方法：出席率（20％）課題提出（70％）授業姿勢（10％）

技術専攻科「ファッションイラストレーション」

内容と目標

- ・人体の形を正確に捉える力をつけるドローイングと、それを基礎に発想力を表現するイラストで、様々なデザインを生み出すためのトレーニングを行う。
- ・ドローイングでは、人体の形を正確に捉える力をつける。習得したドローイングを元に、自分の発想力をイラストで幅広く表現できるようにする。様々なデザインを生み出すためのトレーニングを行う。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	
技術専攻科	<ul style="list-style-type: none"> ・人体のプロポーションや、顔、手、足などの部分的描き方を練習する。 ・絵具の種類による効果の違いを実習で学ぶ。 ・デザイン画コンテストに向けてイラストの実物制作をする。 ・コンピューターソフトを使ってイラストレーションを描く練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙質の違いによる効果の違いを実習する。 ・スタイル画を決められた時間で仕上げる早さを身につける練習をする。 ・コンピューターでイラスト作品を完成する。 ・卒業作品の作画準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業作品の制作 ・卒業作品について発表する。 	90 時間

成績評価方法：出席率（20%）課題提出（70%）授業姿勢（10%）

技術専攻科・ファッション研究科 1年共通 「パターンメイキング」

内容と目標

- ・パターンメイキング検定 2 級の合格をめざし、試験対策とそれに沿った知識と技術の習得
- ・フラットパターンメイキングにおける、理論的理解を深めるための研究
(パターン作成の様々な違いにより、どのような変化があるかを実際に衿のトワルを組み立てることにより理解を深める。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
技術 専攻 科 ・ フ ァ ッ シ ョ ン 研 究 科 1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・パターンメイキング検定(2 級)対策を含む授業 *ジャケット、パンツ、キュロットのグレーディング *テーラードジャケットのフラットパターンメイキングについて *テーラードジャケットのデザイン画からのフラットパターンメイキング *テーラードジャケットのトワルの組み立て方 	<ul style="list-style-type: none"> ・パターンメイキング検定実技対策 ・洋裁技術認定対策(上級) ・様々な袖の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラットパターンメイキング *シャツカラー・台襟付きシャツカラーについての研究 	110 時間

成績評価方法：出席率（20％）課題提出（70％）授業姿勢（10％）

技術専攻科「立体裁断」

内容と目標

- ・立体裁断の基礎修得者が、立体的な服作りの研究を通してステップアップし、次第に高度な技術を習得する。
- ・様々なドレーピングの種類を実習することにより、イメージしたデザインを思い通りの形に組み立てられるようにする。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	授業時間数
技術専攻科	<ul style="list-style-type: none"> ・立体裁断の歴史および服飾における立体裁断の役割についての講義 ・シーチングを用いて、立体裁断で制作、トワル練習をする。 *タイトスカート *各種衿のデザイン（シャツカラー、フラットカラー、スタンドカラー、セーラーカラー等） *各種袖のデザイン（セットインスリーブ、シャツスリーブ、キモノスリーブ、ラグランスリーブ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・身頃は三面体構成で、袖は細身の二面構成のジャケットを厚手シーチングで組み立てる。 ・コートを制作する。その際、厚手シーチングを用いる。。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体裁断の卒業作品を制作する。（布はシーチングでも、他の生地を使用しても良いが、デザインと布がよく合うものを選ぶこと。） 	90時間

成績評価方法：出席率（20%）課題提出（70%）授業姿勢（10%）

技術専攻科「コンピューターCAD 実習」

内容と目標

- ・CAD の基本操作をひと通り復習してから、各アイテムのパターン作成へ展開する練習をする。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
技術 専攻 科	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作の復習として、デザインブラウスのパターンを作成する。 ・デザインブラウスを工業パターンに展開する。 ・基本ブラウスのパターンを拡大、縮小をする。 ・基本ブラウスのダーツからヨークやギャザーに展開する。 ・衿型をフラットカラーにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンピースパターンを作成する。 ＊シルエットパターン ＊袖山パターン ・ワンピースパターンを工業パターンに展開する。 ・ジャケットのシルエットパターンを作成する。 ・ジャケットの袖の作成、袖山、外袖、内袖の描き方を練習する。 ・テーラードカラーの表衿、裏衿、見返しの描き方の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したテーラードジャケットを工業パターンに展開する。 ・工業テーラードジャケットをグレーディングでサイズ展開する。 ・CAD ソフトでハンガーイラストのデザイン画を描く。 ・CAD 実習の卒業作品としてブラウスワンピースジャケットのうち1点をシーチング布で裁断し、ミシン縫いで組み立てて卒業作品にする。 	55 時 間

成績評価方法：出席率（20％）課題提出（70％）授業姿勢（10％）

技術専攻科「テーマ研究」

内容と目標

・テーマは自由で、生徒自身が選択し、主体的に研究する。自分の興味のあることに基づくものでも構わないし、各種試験にむけた勉強をするのもよい。その場合は、試験が終わっても、次に勉強することを決めておくこと。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
技術 専攻 科	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを選択する。 ・テーマ選択に至った経緯をプレゼンテーションする。 テストの場合は、テスト勉強 ～実物作成の場合～ <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った作品のアイデアを出す ・デザイン画の作成をする。 ・制作作品の計画を立てる。 表現方法を決定する。	～実物作成の場合～ <ul style="list-style-type: none"> ・テキスタイルの決定 ・実物制作に入る テストの場合は、テスト勉強	～実物作成の場合～ <ul style="list-style-type: none"> ・実物を仕上げる ・作品に合わせたアクセサリーや小物作りをする。 ・実物作品と、テーマとの関連性を発表する。 テストの場合は、テスト勉強	110 時間

成績評価方法：出席率（20%）課題提出（70%）授業姿勢（10%）

ファッション研究科「ファッションデザイン1年・2年」

内容と目標

- ・服飾技術の基礎修得者が、より高度なデザイン方法を学ぶと共に、新しい衣服制作の研究をする。
- ・1年前期はオートクチュールのデザインについて学び、1年後期は工業生産のデザインについて学ぶ。
- ・2年次では学生各人が、研究テーマに沿って、ファッション技法を追求する。
- ・卒業作品に取り組みながら、クリエイターとして今後の方向性を模索する。
- ・将来、指導的な立場に立てるよう、基礎から応用までのデザイン手法を修得する。

年間スケジュール

		1学期	2学期	3学期	授業 時間数
ファッション研究科	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・ オートクチュールのデザインの講義と演習 ・ スカート、パンツ、ブラウス、ワンピース等、軽衣料のデザインの創作 ・ ファッションコンテストの為のデザインの創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業生産のためのデザインの講義と演習 ・ スーツ、コート等、重衣料のデザインの創作 ・ ファッションコンテストの為の実物制作 ・ ファッションショー用作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各人研究テーマを決めて、企画書を作る。 ・ ファッションショー用作品の制作 	110 時間
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究テーマに即した作品制作 ・ ファッションコンテストの為のデザイン創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究テーマによる卒業作品制作 ・ ファッションコンテストの為のデザイン創作 ・ ファッションショー作品制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究テーマによる卒業制作及び発表 	110 時間

成績評価方法：出席率（20％）課題提出（70％）授業姿勢（10％）

ファッション研究科 2年「服飾造形実習」「パターンメイキング」

内容と目標

・応用力を高めるため、デザインは自由に考える。服飾造形における研究テーマに基づき、被服製作の新たな可能性を追求する。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
服飾造形実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ニット、レザー等の特別な制作技術が必要な素材を扱う ・特殊素材を用いて、衣服またはバッグやアクセサリーを制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 学期の学習を基に研究テーマを決定し、卒業制作の企画書を作成する。 ・企画書に沿って、卒業作品となるウエディングドレス、フォーマルドレス、舞台衣装、コスプレ衣装等を制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業作品を完成させ、発表する。 	290 時間

	1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
パターンメイキング	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾造形実習に合わせてパターンを制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾造形実習に合わせてパターンを制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業作品を完成させ、発表する。 	110 時間

成績評価方法：出席率（20%） 課題提出（70%） 授業への取り組み姿勢（10%）

ファッション研究科1年・2年「テーマ研究」

内容と目標

・テーマは自由で、生徒自身が選択し、主体的に研究する。

服の構造や仕立てのテクニック関することでも構わないし、文学や歴史、現代のカルチャーからピックアップしてもよい。生徒自身がリサーチし、テーマの中で、自分の表現したいものを発見し、表現方法を考え、試し、実際に制作する。教師はあくまで生徒のサポートをする。一つのテーマを深く掘り下げ得た発想を、実物制作で表現する力を養う。

年間スケジュール

		1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
ファッション研究科	1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるテーマを書きだす ・テーマについてリサーチする ・テーマを選択する。 ・テーマ選択に至った経緯をプレゼンテーションする。 ・テーマに沿った作品のアイデアを出す ・デザイン画の作成をする。 ・制作作品の計画を立てる。 表現方法を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスタイルの決定 ・実物制作に入る 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を仕上げる ・作品に合わせたアクセサリーや小物作りをする。 ・実物作品と、テーマとの関連性を発表する。 	200 時間
	2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについてリサーチする ・テーマを選択する。 ・テーマ選択についてデジタルツールを使ってプレゼンテーションする。 ・テーマに沿った作品のアイデアを出す ・デザイン画の作成をする。 ・制作作品の計画を立てる。 表現方法を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスタイルの決定 ・実物制作に入る 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を仕上げる ・作品に合わせたアクセサリーや小物作りをする。 ・実物作品と、テーマとの関連性をデジタルツールを使って発表し、質疑に応答する。 	200 時間

成績評価方法：出席率（20%）課題提出（70%）授業姿勢（10%）

ファッション研究科1年・2年「立体裁断」

内容と目標

- ・立体裁断の基礎修得者が、立体的な服作りの研究を通してステップアップし、次第に高度な技術を習得する。
- ・立体裁断の技術を基本から上級レベルまでをマスターし、将来、指導的な立場に立つことができる人材を育成する。
- ・立体裁断の応用で、複雑なパターンの衣服を制作する。また、立体裁断ならではのオートクチュールのドレス制作に取り組む。

年間スケジュール

		1 学期	2 学期	3 学期	授業時間数
ファッション研究科	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・立体裁断の歴史および服飾における立体裁断の役割についての講義 ・シーチングを用いて、立体裁断で制作、トワル練習をする。 *タイトスカート *各種衿のデザイン（シャツカラー、フラットカラー、スタンドカラー、セーラーカラー等） *各種袖のデザイン（セットインスリーブ、シャツスリーブ、キモノスリーブ、ラグランスリーブ等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・身頃は三面体構成で、袖は細身の二面構成のジャケットを厚手シーチングで組み立てる。 ・コートを制作する。その際、厚手シーチングを用い、デザイン性を重視した作品とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体裁断による自由作品を数点制作する。 	110時間
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・立体裁断に薄地を用いてドレスを制作する。 ・立体裁断の研究テーマを担任と相談して制作を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体裁断に極厚地を用いたデザインを制作する。 ・研究テーマによる作品を仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋服地を用い、立体裁断で卒業作品を制作する。 	110時間

成績評価方法：出席率（20％）課題提出（70％）授業姿勢（10％）

ファッション研究科1年・2年「ファッションイラストレーション」

内容と目標

- ・1年次：人物のシルエットやディテールを的確にとらえて表現する力を身につけるドローイング技術を習得する。ドローイング技術を基礎にして発想力を養い、イラストで表現するトレーニングを行う。
 - ・2年次：画材研究を行い、発想したアイデアを的確に表現できるようにする。表現の幅を広げるために、レベルアップしたコンピューター技術を学ぶ。
- 2年次後半には、この科目の集大成としてイラストレーションの卒業制作に取り組む。

年間スケジュール

		1学期	2学期	3学期	授業 時間数
ファッション研究科	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・人体のプロポーションや細部の描き方の基礎を練習する。 ・着色材料による様々な表現を研究する。 ・デザイン画やイラストのコンテストに挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な紙質と描画方法を研究する。 ・スピードのある早描きを練習する。 ・デザイン画やイラストのコンテストに挑戦する。 ・コンピューターソフトでイラストを練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマを決めて作品を制作する。 	90 時間
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の学習を基にファッションイラストを独自のものに表現する方法を研究する。 ・コンピューターソフトを使用したデザインの表現を研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルなファッションイラスト画の表現方法を研究する。 ・卒業制作に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業制作を完成させる。 ・卒業作品の発表 	90 時間

成績評価方法：出席率（20%）課題提出（70%）授業姿勢（10%）

ファッション研究科1年・2年「コンピューターCAD実習」

内容と目標

- ・1年次：CADの基本操作の復習、習得。応用デザインへの発展。
- ・2年次：コート、パンツ、アウトドアジャケットなど、アイテムごとにデザインのバリエーションを広げてCADパターンの作成練習をする。

年間スケジュール

	1 学期	2 学期	3 学期	授業 時間数
ファッション研究科	1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンピースのパターン作成 ・ワンピースのパターンを工業パターンに展開。 ・シャツブラウスのパターン ・シャツ衿のパターン ・シャツ袖のパターン ・シャツブラウスを完成させる。 ・袖の種類を描く *タイトスリーブ・キモノスリーブ・ドルマンスリーブ・フレンチスリーブ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャケットのシルエットパターン作成。 ・ジャケットの袖を作成。(袖山、外袖、内袖) ・ジャケットのテーラードカラー(裏衿、見返し) ・ジャケットパターンを完成させ、布を裁断してミシン縫製で組み立てる。 ・組み立てられたジャケットは終了作品として提出、展示する。 	45 時間
	2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・CADのソフトでハンガーイラストの描き方の練習。 ・コートの絵をハンガーイラストで描く。 ・コートのシルエットパターンの作成。 ・コートの袖、衿の作成。 ・コートの工業用パターンの作成。 ・コートの工業用パターンをS,M,Lにグレーディングする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアジャケットのハンガーイラストを描く。 ・アウトドアジャケットのシルエットパターンの袖、衿、ポケットの作成。 ・完成したアウトドアジャケットのパターンを工業用に展開する。 ・パンツのハンガーイラストを描く。 ・イラストからパンツのパターンを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンツパターンを工業パターンに展開する。 ・パンツパターンをサイズ展開する。 ・卒業作品として自由にアイテムとデザインを決める。 ・卒業作品のパターン作成 ・作成されたパターンで布を裁断し、ミシン縫製をしてCAD卒業作品としてパターンと併せて提出、展示する。

成績評価方法：出席率(20%) 課題提出(70%) 授業姿勢(10%)

実務経験のある教員による授業一覧

ファッション本科 1年		ファッション本科 2年		技術専攻科・ ファッション研究科1 年		ファッション研究科 2年	
授業名	時間	授業名	時間	授業名	時間	授業名	時間
服装造形実習	220	コンピューター CAD 実習	55	コンピューター CAD 実習	55	コンピューター CAD 実習	45
ファッション プランニング	110	ファッション ドローイング	90	パターン メイキング	110	パターンメイキ ング	110
ファッション ドローイング	90	立体裁断	110	立体裁断	90	立体裁断	110
		選択科目	90	ファッションイ ラストレーショ ン	110	ファッションイ ラストレーショ ン	90
合計	420 時間		345 時間		365 時間		355 時間